

平成28年度 三条市図画工作部 活動報告

部長 石井 正文

1 研究主題

表現及び鑑賞活動を通して、感性を働かせ、つくり出す喜びを感じ取る子どもの育成

2 研究の概要

学習指導要領では、表現活動及び鑑賞活動を通して、つくり出す喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養うことを目標としている。

これまで、上記の目標達成のために、昨年度は新聞紙を用いた実技研修、一昨年度は絵の具指導の実技研修を行い、研修を深めてきた。そこで、今年度はさらなる図画工作科授業の可能性を求めて研修を行っていくこととした。

3 研究の実際

日時	活動の概要（活動名、概要、指導者等）	会場 参加者数
5月 9日（月）	○活動名 図画工作部会 ○概要 組織づくり、活動計画及び予算計画立案等	一ノ木戸小学校 25名
6月24日（金）	○活動名 「モネ展」作品鑑賞 ○概要 県立近代美術館にて「モネ展」の作品鑑賞	県立近代美術館 24名
9月28日（水）	○活動名 実技研修 I 水墨画で表そう II 木肌を感じて表そう ・講師 東京学芸大講師 横内 克之 様 ○概要 墨液の濃淡や色、道具を工夫して表現した。また、木肌を表すために、軽量粘土を用いて半立体として表現した。	一ノ木戸小学校 25名
関連・協力事業	○第35回ふるさと絵画コンクール （審査会9月29日，作品展11月26日・27日） 主催 三条市PTA連合会：審査，展示準備立会等の協力 ○三条市幼・小・中美術展 （実行委員会1月下旬，美術展2月11日，12日） 主催 三条市幼・小・中美術展実行員会 事務局，展示，撤去作業等	

4 成果と課題

実技研修では、東京芸術大学講師の横内克之様をお招きし、とても魅力的な研修を行うことができた。参加者からは「3種類の濃さの墨、そしてマイツールを使うことで、表現の幅が広がることが分かった。」「軽量粘土を用いての木の立体感を出す技術、混色の指導の仕方など、すぐに実践に役立つよい研修だった。」等の多くの肯定的な感想が寄せられた。

今後も、実技研修、美術作品鑑賞等をバランス良く組み合わせて研修を行っていきたい。



実技研修の様子

木肌を感じて表そう

- ・軽量紙粘土を黄ボール紙に指で貼り付けていく感触が楽しく、また、立体感や質感を手軽に出すことができ、驚きました。
- ・色づくりも、今時の子ども達にとってはしっかりと学んでいないことが多く、色数を制限して木を描かせるという活動は、とても有効だと感じました。やってみたいです！
- ・紙粘土が平面作品にも使えるということ、また、筆を作成する等、道具からつくるという面白さを学ばせていただきました。
- ・紙粘土を指でのばしていくのがとても楽しかったです。その上に絵の具絵をぬると、とても見栄えのする作品になることが分かり、特別支援の子どもにも取り組みそうで、教えていただいていたかったです。
- ・大人がやっても夢中になれる・・・五感を使う活動は、子どもにとっても楽しめるものだと思います。指を使っての粘土のを用いる絵、学校でもやってみたいと思います。身近なものが絵の材料になる・・・自分でも発掘してみようと思います。
- ・紙粘土の意外な使い方、楽しく魅力的な使い方を学ぶことができ、とてもうれしいです。
- ・赤、青、黄&黒のみというように、色を制限することで、色の幅が広がることを実感しました。また、それを簡単に子どもに活かせる紙皿の方法も教えていただき、参考になりました。
- ・紙粘土を紙にぬって立体感を表すことに全然今まで気付きませんでした。質感も、肌で感じて、直に触れながらできるので、とても楽しみながら進めることができました。色ぬりのポイントもとても分かりやすく、実践してみようと思います。自分の欠点も見つけることができ、いい機会になりました。ありがとうございました。
- ・黙々と図工に取り組んだのが久しぶりでしたが、とても楽しかったです。「木肌を感じよう」では、触れた感じから粘土を活用して表現していくという新しい方法に驚きました。ですが、実際にやってみると、何となく木っぽくなってきたかな？と思われる作品ができてきておもしろかったです。子ども達ともやってみたいなと思いました。
- ・黄ボール紙に、超軽量紙粘土がマッチすること、そして、木肌を上手く表現できることに感動しました。木肌だけでなく、様々な題材で使えると思いました。さっそく文化祭で使わせていただきます。（夜空に星座を浮かび上がらせたいと思います。）また、楽しいことがあったら教えてください。
- ・粘土を使って木肌を表現するやり方が、苦手な子にも有効なのだと感じ、やってみたいと思いました。
- ・紙皿を使った色りづくり使った色づくりも、変化のある色づくりができる技で、ぜひ取り入れてみたいと思いました。楽しく学ばせていただき、ありがとうございました。
- ・超軽量粘土を使うことで、立体感や木肌を感じながら表す技法を学ぶことができました。
- ・紙粘土を使うという新しい技法を教えていただくことができ、とても勉強になりました。さっそく

く 子どもたちとやってみたいと思います。

・紙粘土が絵画に使えるとは！！すごく驚きました。木肌の質感が簡単に表すことができ、ぜひ学校でもやってみたいと思います。

・木を軽量粘土で作る(?)という発想はすばらしいと思いました。絵、特に色ぬりが苦手な子どもにとって、抵抗の少なく、楽しみながらできる授業だと思いました。

・パレットとして紙皿を使うアイデア、すばらしいですね。

・色の混色など、知らないことばかりでした。ありがとうございました。

水墨画で表そう

・青墨の存在を初めて知りました。濃淡もそうですが、筆のおかげで思わぬ線と出会えることが、喜び、発見になると思います。

・青墨を初めて知り、アイデア次第でいろいろな作品ができそうだと思います。

・3種類の濃さの墨、そしてマイツールを使うことで、表現の幅が広がるのが分かりました。ありがとうございました。

・道具の工夫等とても参考になりました。子どもの巻物がかわいいです。やってみたくまりました。短い時間で濃〜い内容、ありがとうございました。

まとめて

・どちらも楽しく取り組むことができた。自分自身、図工があまり得意ではないが、子どもに授業してみたらおもしろいかも、と思うことができた。

・とても役に立つ、魅力的な実技研修でした。横内先生は、この何倍も何十倍、何百倍もたくさんの技を持っておられると思うので、機会があれば、また教えていただきたいと思います。

・図工が大の苦手なので実技研修ということで気分が重かったのですが、とても楽しく取り組みました。子ども達にも楽しさを伝えたいと思います。ありがとうございました。

・今まで知らなかった絵画の基本と新しい技法を学ぶことができました。私のように、“好きだけど苦手”な人にぴったりの内容でした。来年度もぜひ横内先生の研修会を開催してください！今度は、立体作品づくりがよいと思います。

・軽量粘土を用いての黄の立体感を出す技術、混色の指導の仕方など、すぐに実践に役立つよい研修だったと思います。

・大変有意義であった。ちょうど文化祭の共同制作で木を取り入れた絵を描こうとしていたので、大いに参考になった。自分でやってみて「おもしろい」と感じたものは、どんどん子ども達にも体験させたい。

・実際の体験をもとに指導していただき、とても勉強になりました。色々な素材を生かすことを知り、とてもいい経験になりました。ありがとうございました。

・三原色+黒で、丸い皿をパレットにすることが大変に勉強になりました。普通のパレットより使いやすかったです。

図工部のアンケートをまとめました。ご指導よろしく申し上げます。

- 40字×45行で示したが、行数は変更してよい。A4 1枚で。
- 10.5ポイントMS明朝体を基本とする。
- 見出しは、MSゴシックで。
- 研究の実際には、写真等を用いて分かりやすく伝える。
- 述べやすいように項目を変更してもよい。

- 40字×45行で示したが、行数は変更してよい。A4 1枚で。
- 10.5ポイントMS明朝体を基本とする。